

## 平成 26 年度 南海トラフ地震対策中部圏戦略会議活動計画における各機関の取り組み状況

平成 26 年度活動計画 項目	H26 年度に構成機関が実施した活動内容
◎「優先的に取り組む連携課題（10 課題）」の継続推進	・優先的に取り組む連携課題（10 課題）の平成 26 年度成果についてフォローアップを実施し、取り組みの成果を共有、施策を推進。
◎「優先的に取り組む連携課題（10 課題）」の新たな総合調整の推進	<p>・人材育成をテーマとした相互連携を推進するため、地域防災力の向上に資する（広く国民の防災意識を高め、個々に災害に備える行動に結びつけるための）人材育成を目指して、平成 27 年 3 月初旬にワーキングを開催し、課題の抽出及び今後の取組方針を策定予定。</p> <p>・『優先的に取り組む連携課題（10 課題）』の相互連携の推進を推進するため、「1. 災害に強いものづくり中部の構築」、「2. 災害に強い物流システムの構築」、「7. 防災拠点のネットワーク形成に向けた検討」、「8. 道路啓開・航路啓開等のオペレーション計画の策定」が相互に連携し、迅速な応急対策、早期復旧に資する物流ネットワークを構築について、平成 25 年度の検討にて明らかになった課題への検討・対応を実施。（別添）</p>
◎関係機関が連携した初動時のヘリ調査計画の策定	<p>・南海トラフ地震等の大規模地震発生初動時には、より素早く・効率的に広範囲の情報を把握することが極めて重要であるため、防災ヘリコプター等を所有する関係機関が連携し、情報収集・情報共有体制を構築するために、ワーキングを設立、検討を実施。（別添）</p> <p>①連絡体制の構築 ②ヘリ等を使用できない場合の対応 ③ヘリ等災害活動の安全確保 ④燃料備蓄と共有体制の構築 ⑤（非公共）ヘリポートの共用 ⑥映像共有の体制 （※下線：今年度の検討項目）</p> <p>→ 重ね合わせ図（ヘリ等 ver）、災害時連絡先一覧表等の作成。燃料備蓄や安全確保に関する情報共有を図った。</p>
◎南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練の実施	<p>・平成 26 年 8 月 31 日：各県市、防災関係機関等における広域連携実動訓練を実施し、197 団体、約 8,250 名が参加</p> <p>・平成 26 年 11 月 5 日：緊急災害現地対策本部運営訓練を実施し、各府省、地方支分部局、各県等 20 機関、167 名が参加</p>
<p>◎UTMグリッド地図の利用促進</p> <p>◎防災教育における新たな取り組み（シェイクアウトなどの実施）</p> <p>◎民間企業・NPO等との連携推進（防災意識啓発イベント、地震防災訓練等の連携推進）</p> <p>◎広域医療搬送訓練を含めた関係機関の連携方策検討</p>	別紙参照



◎その他関係機関が連携した取り組み

機関名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UTMグリッド地図の活用促進</li> <li>・ 防災教育における取組（シェイクアウトなどの実施）</li> <li>・ 民間企業・NPO等との連携推進（防災意識啓発イベント、地震防災訓練等の連携推進）</li> <li>・ 広域医療搬送訓練を含めた関係機関の連携方策検討</li> </ul>	備考・その他の取り組み
名古屋税関	（参考） 港街づくり協議会との連携により、「みなとまちBOSAI in 西築地学区」の一環による「西築地小学校の児童による津波避難ビルへの避難訓練」を実施 平成26年11月18日（火）	
東海農政局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月1日 シェイクアウト訓練を実施（東海農政局防災訓練の中で実施 400人参加）</li> </ul>	
中部近畿産業保安監督部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月27日（月） 愛知県・名古屋市総合防災訓練に参加 1名（シェイクアウト訓練、避難施設への移動訓練）</li> <li>・ 7月9日（水） 国土強靱化に関する地方支分部局等職員に対する説明会に参加 4名</li> </ul>	
大阪航空局	9月1日（月）『あいちシェイクアウト訓練』を中部空港事務所にて実施 10月2日（木）『中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練』に中部空港事務所が参加 11月5日（水）『中部国際空港地震津波避難訓練』に中部空港事務所が参加	以下のワーキングに中部空港事務所がオブザーバーとして参加 10月28日（火）『第1回大規模地震発生時の初動時のヘリ等による情報収集・情報共有体制構築ワーキング』 12月11日（木）『第2回大規模地震発生時の初動時のヘリ等による情報収集・情報共有体制構築ワーキング』
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月31日 県民参加型シェイクアウト訓練を実施（参加者約20万人）</li> <li>・ 8～10月 防災啓発イベント「ぼうさいフェア」を県内5圏域で実施（参加者約32000人）</li> <li>・ 10月11日 広域医療搬送体制の検証を目的とした中部ブロックDMAT実動訓練へ岐阜県参加</li> <li>・ 10～11月 「岐阜県総合防災リーダー育成講座」を3日間の日程で開催（参加者128人）</li> <li>・ 10～11月 「地震体験車リレーキャラバン」を県内5圏域で実施（参加者約7400人）</li> </ul>	
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UTMグリッドを掲載した防災地図を作成</li> <li>・ 12月7日シェイクアウトや中高生参加を盛り込んだ地域防災訓練を実施</li> <li>・ 防災月間、総合防災訓練等で民間企業・NPO等と連携したメニューを実施</li> <li>・ 7月分野別医療訓練、8月総合防災訓練、1月大規模図上訓練で広域医療搬送訓練を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成24年度にアンケート調査を実施して明らかになった課題のうち、「津波や避難に関する情報伝達に」について、東海4県3市で構成される「津波対策に係る勉強会において」検討を実施</li> <li>・ 特定非営利法人ITS Japanが取り組む「平成26年度G空間社会実証プロジェクト事業」「移動者向け災害情報提供プロジェクト」に協力し、静岡県において実証実験を実施</li> </ul>
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の産学官民が連携、協働して防災人材を育成する「防災・減災カレッジ（防災人材育成研修）」を実施。</li> <li>・ 9月1日 シェイクアウト訓練を実施（337,536人参加）</li> <li>・ 10月11日 中部ブロックDMAT実動訓練において、航空搬送拠点臨時医療施設の設置・運営訓練を実動で実施</li> <li>・ 11月15日、16日 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練において自衛隊と連携した訓練を実施</li> </ul>	

機関名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UTMグリッド地図の活用促進</li> <li>・ 防災教育における取組（シェイクアウトなどの実施）</li> <li>・ 民間企業・NPO等との連携推進 （防災意識啓発イベント、地震防災訓練等の連携推進）</li> <li>・ 広域医療搬送訓練を含めた関係機関の連携方策検討</li> </ul>	備考・その他の取り組み
三重県	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎UTMグリッド地図の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年2月6日 UTMグリッド地図を活用した災害対策本部総合図上訓練を実施</li> </ul> </li> <li>◎防災教育における新たな取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災ノート」の改訂</li> <li>・「防災ノート」と「Myまっぷラン」の連携の取組</li> <li>・防災タウンウォッチング指導者研修会の実施（県内5箇所）</li> </ul> </li> <li>◎民間企業・NPO等との連携推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年9月27日 伊勢湾台風55年シンポジウム・風水害セミナー（主催：三重県・（株）時評社、来場者数：約200名）</li> <li>・平成26年12月6日 昭和東南海地震70年シンポジウム（来場者数：480名）</li> </ul> </li> <li>◎広域医療搬送訓練を含めた関係機関の連携方策検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年11月2日 関係機関参加のもと総合防災訓練を実施</li> <li>・平成26年11月20日 関係機関参加のもと災害対策本部機能別（保健医療）図上訓練を実施</li> <li>・平成27年2月6日 関係機関参加のもと災害対策本部総合図上訓練を実施</li> </ul> </li> </ul>	
静岡市		<p>緊急速報メールや同報系防災行政無線の他、平成26年10月から、市内コミュニティFM放送局と連携し、Jアラートから送信される地震・津波・気象警報等の緊急情報を放送局から自動的に放送する「静岡市緊急情報防災ラジオ」の運用を開始した。本年度は4,200台を購入し、自治会・町内会の代表者や避難所、福祉避難所等の施設管理者に順次貸与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年9月1日に市内で総合防災訓練を実施し、平成27年3月8日には市内沿岸部21の連合自治会を中心に津波避難訓練を実施する予定である。</li> <li>・市内沿岸部の小中学校28校を対象に、平成26年7月から図面を配付し、DIG（災害図上訓練）を行っている。</li> <li>・静岡市津波避難ビル整備事業費補助金交付要綱に基づき、外付け階段設置費や安全性向上のための屋外フェンス設置費に対する津波避難ビル等整備事業者に対し、本年度は2件16,000千円の補助金を交付した。</li> <li>・平成26年度は、昨年度から繰越した津波避難タワー2基が完成し、命山を含め3基の整備に着手した。</li> </ul>
長野県警察本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 諏訪地域医師会と「災害発生時の人命と人身の安全確保に関する諏訪広域連携協定」を締結し、警察と医師会の災害発生時における情報共有と相互協力体制の強化を図った。</li> <li>○ 2月23日におんたけ2240スキー場において、スキー場管理者、消防等関係機関と連携し、噴火災害等を想定した救助訓練・避難誘導訓練を実施した。</li> <li>○ 2月26日に、機動隊と消防局によるスキューバ訓練を実施し、水中での要救助者捜索対策についての連携を図った。</li> </ul>	
岐阜県警察本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月31日 岐阜県総合防災訓練で岐阜県等関係機関と連携した防災訓練・防災意識啓発イベントを実施</li> <li>・ 9月6日、7日 岐阜県と連携した防災啓発イベント（防災フェア）をアピタ中津川店で実施</li> <li>・ 9月13日、14日 岐阜県と連携した防災啓発イベント（防災フェア）をアピタ美濃加茂店で実施</li> <li>・ 9月27日、28日 岐阜県と連携した防災啓発イベント（防災フェア）をアクアウオーク大垣で実施</li> <li>・ 11月9日 岐阜市総合防災訓練で防災関係機関と連携した防災訓練・防災意識啓発イベントを実施</li> <li>・ 2月19日 UTMグリッド地図を活用した中部管区警察局主催、東海三県警察災害警備合同図上訓練に参加</li> </ul>	

機関名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UTMグリッド地図の活用促進</li> <li>・ 防災教育における取組（シェイクアウトなどの実施）</li> <li>・ 民間企業・NPO等との連携推進（防災意識啓発イベント、地震防災訓練等の連携推進）</li> <li>・ 広域医療搬送訓練を含めた関係機関の連携方策検討</li> </ul>	備考・その他の取り組み
静岡県警察本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月24日 災害対処能力の向上及び部隊相互の緊密な連携を図ることを目的とし、県警機動隊において関東管区広域緊急援助隊警備部隊第3大隊（静岡・新潟・長野・山梨部隊）と、広域緊急援助隊等が出動した際に県内の警備力を維持するために編成された静岡県警察機動隊特別支援隊（別称「HERO」）との合同訓練（参加者85人）を実施。</li> <li>・ 7月2日・3日 2014年度石油供給連携計画訓練における緊急供給要請対応訓練に参加（給油施設への模擬給油訓練は全国で初。県内6施設（警察は1施設）で実施。</li> <li>・ 8月31日 静岡県総合防災訓練…訓練を通じ、自衛隊、海保、消防等関係機関との連携を図った。</li> <li>・ 10月19日 富士山火山三県合同防災訓練2014において、関係機関との合同図上訓練、4市1町が実施した住民等避難訓練に参加。</li> <li>・ 27年2月17日（予定） 南海トラフ巨大地震等大規模災害発生時、警察活動に必要な物資を円滑に確保するため、県内に複数の店舗（ホームセンター）を有する8社と物資の供給・運搬に関する協定を締結。</li> </ul>	<p>6 確実な避難を達成するための各種施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静岡県警察では、東日本大震災の教訓を踏まえ、津波避難標語「津波避難の『たす（+）とひく（-）』」を独自に作成し、各種イベント会場や防災訓練会場等において広報啓発活動を推進し、津波に対する住民等の危機意識の醸成を図っている。</li> <li>※「津波の『たす（+）とひく（-）』 「た」高い所に逃げる 「す」すぐに逃げる 「と」徒歩で逃げる 「ひ」避難する場所を決めておく 「く」訓練に参加する （標語は県警ホームページ「キッズ・コーナー」で閲覧可能）</li> <li>・ 静岡県警察では、住民の迅速な自主避難行動と危機意識の醸成を図ることを目的とし、住民が津波避難施設へ避難するまでを映像化し、広報啓発活動に活用している。（外国語字幕付：英語、北京語、ポルトガル語、インドネシア語、ベトナム語） タイトル「津波からの避難～その時あなたはどうする！～」上映時間：約10分 ※平成26年度 202回、28,641人（H24～延べ704回、63,569人）</li> </ul>
愛知県警察本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UTMグリッド地図を庁内LAN環境で動作可能なシステムを構築し、県内全警察署で使用可能となった。</li> <li>・ UTMグリッド地図を活用した図上訓練の実施（9月1日、11月5日、2月19日）</li> <li>・ 愛知県警察災害警備訓練において、職員を対象としたシェイクアウト訓練を実施した。（約14000人参加）（9月1日）</li> <li>・ 協定を締結しているNPO法人「愛知災害救助犬協会」と合同で大型ショッピングセンターにおいて、防災減災キャンペーンを実施した。（10月25、26日）</li> <li>・ 平成24年2月、愛知県警察防災対策アドバイザーとして名古屋大学福和教授に委嘱し、各種施策を推進していたが、平成27年2月、名古屋大学准教授2名をさらに追加委嘱した。（2月5日）</li> </ul>	
三重県警察本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年2月19日 平成26年度東海三県災害警備合同図上訓練において、UTMグリッド地図を活用した図上訓練実施</li> </ul>	
(一社) 中部経済連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の産学官民が連携、協働して防災人材を育成する「防災・減災カレッジ（防災人材育成研修）」を通じて、企業の人材育成を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中経連主催の中央日本交流連携サミットにおいて「社会資本整備の必要性～防災・老朽化の観点から～」をテーマに国土交通省、中部5県の知事、名古屋市長、中経連が議論し、新たな設備の整備や機能強化老朽設備の対策等を進めるため、中部圏全体における必要性を連携して国や政府に要望することを合意した。</li> </ul>
東海商工会議所連合会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名商安否確認アプリケーションの開発・サービス化</li> <li>中小企業の事業継続計画策定のきっかけとして、災害発生時に携帯メールを利用した従業員安否確認システムの開発・サービス化</li> <li>・ 企業防災の啓発・防災人材の育成支援</li> <li>事業継続計画の普及など、件・市・大学等と連携して企業防災の啓発や防災人材の育成</li> <li>・ 北陸地方整備局等の主催の「南海トラフ地震に対応した代替輸送訓練（ワークショップ・図上訓練）への協力</li> </ul>

機関名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UTMグリッド地図の活用促進</li> <li>・ 防災教育における取組（シェイクアウトなどの実施）</li> <li>・ 民間企業・NPO等との連携推進 （防災意識啓発イベント、地震防災訓練等の連携推進）</li> <li>・ 広域医療搬送訓練を含めた関係機関の連携方策検討</li> </ul>	備考・その他の取り組み
日本赤十字社愛知県支部	<p>11月19日～21日 日本赤十字社愛知県支部救護員研修を実施 （愛知県警察本部、名古屋市消防局、豊田市、豊田市消防本部等関係機関と連携し、災害発生時に円滑な救護活動が実施できるよう必要な知識と技術の習得を目的に実施）</p> <p>11月16日～17日 平成26年度第3ブロック支部合同災害救護訓練を実施※日本赤十字社静岡県支部主催 （日赤の静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県、長野県が中心となり、日赤神奈川県、山梨県支部、清水海上保安部、静岡消防局、静岡地方気象台と連携し実施）</p>	
中日本高速道路株	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月2日 陸上自衛隊との連携訓練</li> <li>・ 8月31日 南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練への参加</li> <li>・ 9月1日 総合防災訓練</li> <li>・ 10月11日 中部ブロックDMAT実働訓練</li> <li>・ 11月5日 津波の日防災訓練</li> <li>・ 3月4日 陸上自衛隊との連携訓練</li> <li>・ 3月13日 総合防災訓練</li> </ul> <p>各県防災訓練への参加等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東名・新東名・伊豆縦貫道、新東名・三遠南信道において、中部地整と大雪時に除雪作業を相互協力するための協定を締結（2014年12月17日、26日）</li> <li>・ 静岡県と「高速道路休憩施設の防災拠点としての活用に関する基本協定」を締結（2015年3月24日）</li> </ul>
名古屋高速道路公社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月1日 防災訓練にて関係機関との連携訓練を実施</li> <li>・ 9月1日 シェイクアウト訓練を実施（204人参加）</li> <li>・ 11月5日 陸上自衛隊との災害情報収集伝達訓練の実施</li> <li>・ 3月4日 陸上自衛隊との災害情報収集伝達訓練の実施</li> </ul>	
独立行政法人都市再生機構中部支社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月4日（木）に全従業員を対象とした全社防災訓練でシェイクアウト訓練を実施。（愛知県が実施したシェイクアウト訓練に同調したもので昨年に続き2回目。訓練参加者は全社で約10,000名）</li> <li>・ 各県主催の防災訓練（実動訓練）に参加。県、消防、警察、自衛隊、海上保安庁など関係機関との連携訓練を実施。</li> </ul>	
中部電力株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月4日（木）に全従業員を対象とした全社防災訓練でシェイクアウト訓練を実施。（愛知県が実施したシェイクアウト訓練に同調したもので昨年に続き2回目。訓練参加者は全社で約10,000名）</li> <li>・ 各県主催の防災訓練（実動訓練）に参加。県、消防、警察、自衛隊、海上保安庁など関係機関との連携訓練を実施。</li> </ul>	
中部国際空港株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月1日 シェイクアウト訓練を取り入れた防災訓練を実施（お客者約100名、従業員約150名参加）</li> <li>・ 11月5日 シェイクアウト訓練を取り入れた津波避難訓練を実施（従業員約200名参加）</li> </ul>	
株式会社NTTドコモ東海支社	<p>1. 防災訓練への参加</p> <p>(1)愛知県11回（8/17：大治町、8/24：小牧市、8/31：常滑市、8/31：愛知県・碧南市、9/21：犬山市、10/12：美浜町、10/27：愛知県・名古屋市、11/5：内閣府・西尾市、11/16：長久手市、11/16：知多市1/25：半田市）</p> <p>(2)岐阜県12回（8/3：白川村、8/24：瑞浪市、8/24：揖斐郡、8/31：岐阜県、8/31：安八町、9/7：下呂市、9/14：坂祝町、10/5：各務原市、10/19：北方町、10/26：関市、11/9：岐阜市、11/9：瑞穂市）</p> <p>(3)三重県9回（9/7：多気町、9/21：朝日町・川越町、10/19：松阪市、10/23：鳥羽市、10/26：明和町、11/2：三重県・志摩市、11/22：津市、11/29：伊勢市、2/：三重県総合図上訓練）</p> <p>(4)静岡県5回（8/24：浜松市、8/31：島田市、静岡県・賀茂地区、12/7：富士市、12/7：袋井市）</p> <p>2. 防災イベント等への参加</p> <p>11/8：愛知県防災フェスタ、11/30：昭区和防災フェスタ、10/19：笠松町リバーサイドカーニバル</p> <p>3. 社内防災訓練</p> <p>9/26：実働訓練（関西）12/15：実働訓練（首都圏）、1/22：東海支社防災訓練</p>	

機関名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ U T M グリッド地図の活用促進</li> <li>・ 防災教育における取組（シェイクアウトなどの実施）</li> <li>・ 民間企業・ N P O 等との連携推進 （防災意識啓発イベント、地震防災訓練等の連携推進）</li> <li>・ 広域医療搬送訓練を含めた関係機関の連携方策検討</li> </ul>	備考・その他の取り組み
東邦ガス株式会社		<p>&lt;主な活動&gt;</p> <p>①総合防災訓練 平成26年8月21日（木）関係会社・協力会社を巻き込んだグループ総合防災訓練を実施。 シェイクアウト訓練（約1600名が参加）安否訓練（約4800名が参加） 前進基地設営訓練、防災井戸利用訓練、臨時供給・仮配管・炊き出し訓練、電話受付訓練、資材搬出訓練、警察、消防との連絡訓練</p> <p>②その他訓練 平成26年11月5日（水）津波防災の日 情報連絡訓練</p> <p>③防災教育 平成26年11月4日～7日 津波防災の日 社内啓発イベント、防災グッズ・備品販売</p> <p>④行政・地域連携 平成26年10月27日（月）愛知県・名古屋市総合防災訓練に参加 平成26年11月9日（日）愛知防災フェスタにブース出展</p>
中部地区エルピーガス連合会		<p>9月1日 あいちシェイクアウト訓練に参加 10月15日愛知県高圧ガス移動防災訓練参加 10月30日LPガス中核充てん所防災訓練の実施</p>
（一社）中部地質調査業協会	<p>・ 9月29日「中部地整管内に震度5強の地震発生」を想定して防災訓練を実施 東海4県の協会員95社（支店・営業所を含む）が参加して、メール・ F A X での情報伝達訓練</p>	
（一社）日本建設業連合会中部支部		<p>・ 12/15「包括協定（国交省・5県3政令市・日建連）」締結・・・連携課題8に関連（包括的調整体制の構築）</p>
（一社）岐阜県建設業協会		<p>9月1日 岐阜国道との災害協定に基づく情報伝達訓練を実施 参加者：9名（緊急防災隊本部員）</p> <p>11月19日、26日 木曾川上流河川事務所主催の災害対策機械等操作訓練に参加 参加者：協会員60名（両日併せて）</p>
（一社）愛知県建設業協会		<p>・ 防災意識の改革 平成27年5月に、市民向けの防災小冊子「備える！！」これだけは知っておきたい「いのち」の守り方を作成し、ライフガードテック2014、地域の防災大会をはじめとする各種市民参加のイベントで配布した。平成26年度5000部配布</p> <p>・ 防災意識改革と防災教育の推進 若い人たちに防災への意識を高めてもらうため「建設業だからできること」を合言葉に、愛知県下の高等学校の生徒達の参加で土のうつくりの授業を実施した。 また、当日は災害小冊子、「備える！！」これだけは知っておきたい「いのち」の守り方を全校生徒に配布し災害への知識を普及した。 平成24年度：守山高等学校・渥美農業高等学校、平成25年度：古知野高等学校・春日井高等養護学校、平成26年度：半田商業高等学校・佐屋高等学校・刈谷東高等学校で約1500名の生徒が土のうつくりに参加した。この事業は今後も継続していく。</p> <p>・ 災害訓練への参加 12月8日に中部地方整備局木曾川上流河川事務所主催の災害支援研修会に参加し、災害対策車両の操作訓練を実施した。協会から23名が参加した。</p>

機関名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UTMグリッド地図の活用促進</li> <li>・ 防災教育における取組（シェイクアウトなどの実施）</li> <li>・ 民間企業・NPO等との連携推進 （防災意識啓発イベント、地震防災訓練等の連携推進）</li> <li>・ 広域医療搬送訓練を含めた関係機関の連携方策検討</li> </ul>	備考・その他の取り組み
(一社) 日本道路建設業協会中部支部	※9月1日防災の日に防災訓練を行った。本部参加者28名⇒他、愛知・岐阜・三重・静岡・長野地区と連携し訓練を行った。 ※7月23日に150名が参加し、防災隊式典を行った。	
(一社) 日本建設機械施工協会中部支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月18日 平成26年度木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練に炭素用無人飛行ロボットシステムによる情報収集で参加。</li> <li>・ 6月24・25日、11月27・28日愛知県ブロック災害対策用機械操作訓練に災害協定会員延べ40社、82名が参加。</li> </ul>	
(一社) 日本潜水協会	今月発行予定の、日本潜水協会会報誌「潜水」の「事務局だより」のコーナーで、防災訓練について紹介予定。(UTMグリッド地図については、前年号の同コーナーで、少しですが紹介しました)	
(一社) 港湾技術コンサルタンツ協会		港湾BCPに関する情報収集と協会内理事会等における強化の確認
(一社) 日本産業カウンセラー協会中部支部		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害支援者への心理的応急措置（サイコロジカル・ファーストエイドPFA）の普及活動のひな形として、中部地方整備局テック・フォース隊員向けに「災害時のセルフケアと被災者対応の留意点」を年4回開催</li> <li>・ プロジェクトチームを立ち上げ、心理的応急措置（PFA）に基づく災害支援チームの活動内容・組織体制・教育訓練・バックアップ体制などの検討を行い、次年度以降の災害支援チームの結成の準備を行った。</li> </ul>
中京テレビ放送株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎7月27日 NTV系列南海トラフ地震訓練（名古屋、静岡、及び 東京）</li> <li>◎公共コモンズ 導入への検討</li> <li>◎3月上旬 地震に関する特番を放送（予定）</li> <li>◎東邦ガスさんと被災時、情報共有についての会合</li> <li>◎夕方ワイド番組内において定期的に南海トラフ地震を考えるコーナー。</li> </ul>	